

できることから始めよう！

災害への備え

札幌市でも、最大震度7の地震が起こる可能性や、豪雨により住宅街が浸水する可能性があります。

災害はいつ起こるか分かりません。
そして誰もが被災する可能性があります。
家庭で、地域で、災害に備えましょう。

このページに関するお問い合わせ
総務企画課地域安全担当 ☎895-2419

昭和56年に札幌市を襲った豪雨によって住宅街が浸水した様子

「家庭」で備える

家族が別々の場所に居るときに災害が起こったら…！？

災害はいつ起こるか分かりません。家族で連絡方法や避難場所、災害時の行動や備えなどを話し合っておきましょう。

連絡方法を確認

災害時は電話などが使えないことがあります。
特定の場所に伝言を残す、災害用伝言ダイヤルを使うなど
何種類か方法を用意しておきましょう。

災害用伝言ダイヤル「171」

ご利用方法

伝言の録音… 171 ⇒ 1 ⇒

伝言の再生… 171 ⇒ 2 ⇒

※携帯電話各社にも同様の伝言サービスがありますので、
詳しくは携帯電話各社のホームページなどを参照してください。

避難場所を確認

小中学校や地区会館、お寺などが避難場所になっています。
厚別区ガイドに付属されている施設マップなどで最寄りの
避難場所をご確認ください。

厚別区ガイドを配布しています

付属のマップには区内の避難場所や公共施設などを掲載しています。

配布場所 区役所1階広聴係
各まちづくりセンター

避難場所はホームページでもご紹介しています。



非常持出品・備蓄品の準備

食料品や水（1人1日3リットル）は最低3日分用意しましょう。
次の例はあくまで参考です。家族にとって必要なものを用意しましょう。

さっぽろ防災ハンドブックを配布しています

地震・風水害時の知識や、ご家族で
どのような備えをするべきかをご紹介
した冊子です。

配布場所 区役所1階広聴係
各まちづくりセンター

ホームページでもご覧になれます。



飲料水



食料品



救急医療品



現金・貴重品



懐中電灯・ラジオ